

岩沼出張所工事情報 NO.2



阿武隈川堤防は大きく生まれ変わります

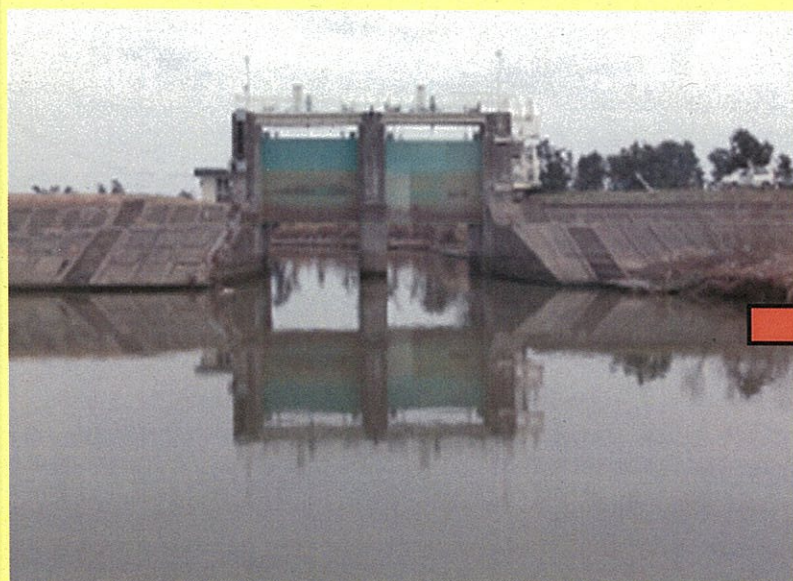


H23.3.11発生 東日本大震災後の応急復旧に始まり本復旧、そして地域の本格的な復興に欠かせない「安全」で「安心」できる堤防を造っています。大震災前の堤防に比べ、高さ・幅ともに大きくなるほか、津波の影響が考えられる海に近いほうでは、仮に津波が堤防を越えてもすぐに壊れないような「粘り強い堤防」を造り、以前にも増して「安全」で「安心」できる堤防になります。

本格的な復興を支えるべく、今年度の概成を目指して工事を進めています。

新浜水門災害復旧工事

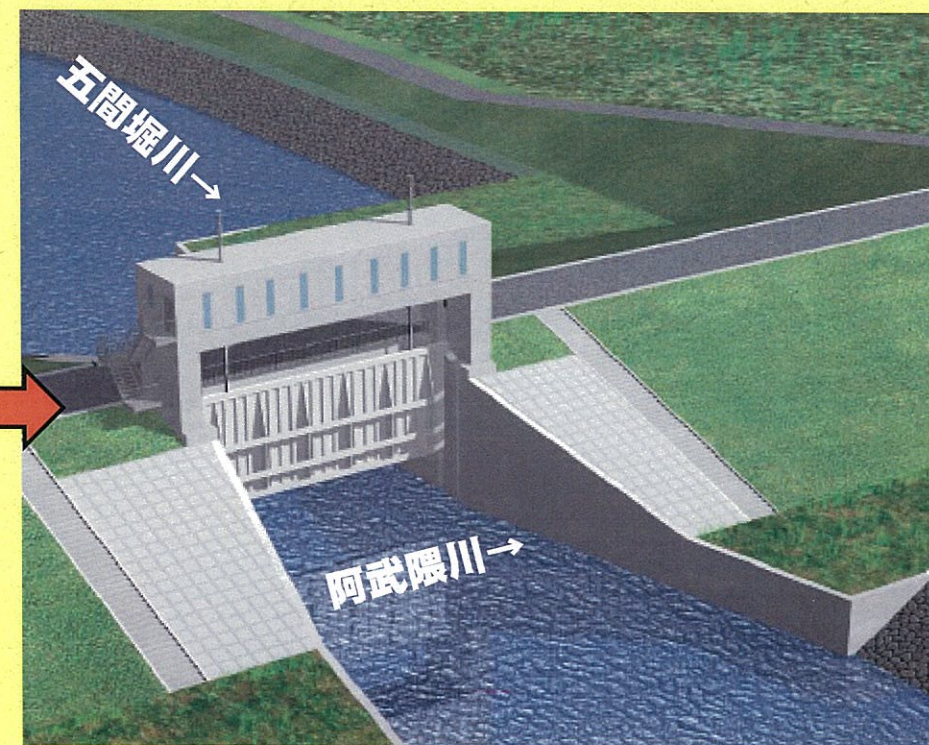
本工事は、阿武隈川河口左岸の旧水門の撤去及び新しい水門を造っています。
新しい水門は堤防の高さを約3mかさ上げし、津波に対して壊れにくい粘り強い構造となっています。
現在は、水門を動かすための機器を設置している段階です。人が常駐していない場合でも出張所から遠隔で水門の操作・監視が出来るようになり、休日夜間は津波警報が発表されると自動でゲートを閉鎖することが可能になります。最新の水門に生まれ変わって4月から運用開始予定となります。



【旧新浜水門】



【施工中の新浜水門】



【新浜水門の完成イメージ】

【水門とは・・・】

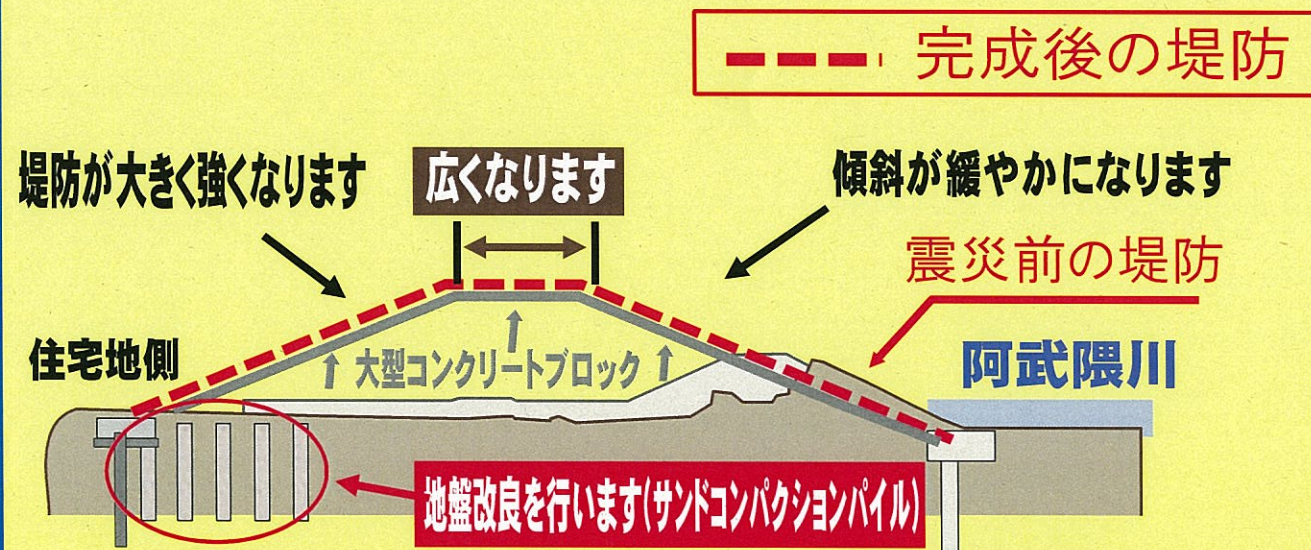
河川や水路を横断して設けられる制御施設で、堤防の機能を持つもの。ゲートを閉めた時に堤防の役割を果たす。



寺島地区災害復旧工事

本工事は、阿武隈川河口部の堤防本復旧工事を行っています。
現在は、堤防を築く前の地盤改良作業を行っている段階で、「サンドコンパクションパイル」とよばれる砂でできた杭を地中に打ち込んでいます。「サンドコンパクションパイル」を液状化しやすい箇所に打ち込んでいき地盤を強く締め固め、地震にも津波にも負けない強い堤防を造っています。

新しい堤防のイメージ図



施工中の新しい堤防



【サンドコンパクションパイル施工状況】



【法面整形完了】



【覆土施工状況】